

はばたき

橋北小学校
学校だより No.4
2013(平成25)年
5月15日

近頃、朝、空高いところから鳥のさえずりが聞こえるようになりました。見つけようとしてもなかなか見つけられません。このさえずる声はヒバリです。漢字で「雲雀」と書きます。雲に届くくらいに空高くさえずりながら上っていく鳥、スズメに体の色・模様などが似ていることからこうに書くそうです。野原や田園のあるところにいるイメージがありますが、四日市の町の中でも聞けます。河川敷も繁殖地に行っているとのことですので、不思議ではないようです。この鳥のさえずりは、春も半ば、繁殖期に入ると縄張りの主張として聞けるようになるそうです。



ヒバリ(雲雀)

共に歩むことをめざして・・・家庭訪問

連休明けから担任が各家庭へ訪問させていただいています。時間制限がありますので、十分にお話ができない場合もあると思いますが、必要に応じて話し合える機会を作りたいと思います。子どもが力を高めていくために、「いかに支援や指導をその子どもにマッチしたものにしていくか」「大人が具体的に何をするのか」「どう子どもと関わるのか」など、こういったことについて、方向性を同じくして進めることができるように、話し合っていくことが大切です。「連携」は、家庭・学校が情報を交換しながら、互いが理解し合い、共に歩むようにしていくことだと思います。

お子様のことで気になることがあるようでしたら、気兼ねせずに担任や相談員、スクールカウンセラー、養護教諭、管理職等に連絡してください。もちろん、学校からもご家庭に話をしていきたいと思います。

家庭訪問は、そのきっかけ作りであり、確かめの機会にしたいと考えています。

あいさつ運動に取り組んでいます



「おはようございます」児童昇降口で元気な声が響きます。5月の生活目標は「元気よくあいさつをしよう」です。児童会代表委員が週の初めの朝には、昇降口であいさつ運動をしています。

橋北地区の目標にも「元気よくあいさつをしよう」があります。その取組もあってのことでしょう、朝、多くの子どもたちがはっきりした声で「おはようございます」とあいさつができます。地域の方も子どもたちに声をかけてくださっていると聞きます。子どもたちの元気なあいさつが聞けると、とてもすがすがしい気持ちとなります。

いつもより表情がにこにこしていれば、「何かうれしいことがあったのかな」、いつものように元気がなければ、「なにか嫌なことがあったのかな」と感じ、それをきっかけに話ができる場合があります。「あいさつは心をつなぐたからもの」という標語がありますが、こんなに短くもコミュニケーションがとれる言葉はないと思うくらいです。

各学級でも「元気よくあいさつをしよう」に加え、次の目標を決めて取組をしています。

- | | | |
|-------------------------------|--------------------|--------------|
| 1 A 朝起きて、集合場所で、教室でみんなに元気にあいさつ | | |
| 2 A ハイタッチあいさつ | 2 B 大きな声であいさつ | 3 A 自分からあいさつ |
| 4 A 大きな声で自分からあいさつ | 5 A 自分から進んであいさつ | |
| 6 A 会った人にあいさつ | 6 B あいさつをされる前にあいさつ | |

この習慣がしっかりと身につくように、学校・家庭が共に取組を進めていきましょう。

栽培活動を通じて子どもの力を育てる・・・確かな学力をつける歩み・・・

「こんなところ小さい虫がついてる。」「アブラムシちがう。」「細っそい足しとるな。」「細かい毛がはえとる。」「その虫って、このままにしておいていいの。」「いいのじゃない。」「あかんと思うよ。お母さんがこの虫は困ると言っとった。」・・・

子どもたちが発芽した双葉を見てこのような話をしています。観察する活動を通じて、子どもたちが植物の成長に関心を寄せ、興味を持つことで、育てる楽しさや難しさを感じるとともに、科学的な見方を高めていきます。そうなるように五感（視覚・聴覚・味覚・嗅覚(きゆうかく)・触覚)を働かせながら発見することの大切さや、発見したことを言葉や絵などで表現したり、伝えたりする力が育つよう段階に応じて指導していきます。



また、植物を育てる過程で、上の会話のようにいろいろな問題やわからないことにぶつかることもあります。「病気ではないかと心配な様子になる」「虫や鳥から守らなければならなくなる」など、そんな時何とかしようと、本や資料で調べたり、解決策を知っている人に聞き取りに行ったり、友だちと相談したりなど、問題を解決する行動をできるだけ子どもたち自らができるように支援します。こういった学びの中で獲得した知識は、しっかり定着しますし、知識を使うこと（活用すること）を学んでいきます。このような学習の経験を積むことがこれから生きるための力につながるものです。

5月も連休を過ぎ、多くの学年が植物を栽培して学習する活動を進めています。また、おうちでも話題にすることもあると思います。(話をしっかり聞いてやってください。)

- | | |
|-----|--|
| 1年生 | アサガオの種を観察して、種まきをしました。(生活) |
| 2年生 | 思い思いの野菜の苗の植え付けをしました。(生活) |
| 3年生 | ハウセンカやヒマワリなどの種まきをしました。
サツマイモを植えようと畑の準備をしています。(理科・学級活動等) |
| 4年生 | ヘチマなどを植える計画しています。
サツマイモを育てる準備をしています。(理科・学級活動等) |
| 5年生 | アトランティックジャイアント(大きなカボチャ)づくりに挑戦します。(学級活動等) |
| 6年生 | ジャガイモを収穫して、でんぷんの実験をします。(理科)
その後に栽培するものは、学級で相談する予定です。 |

